



オープンキャンパスのお知らせ

ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校

(札幌駅前学習センター／札幌市中央区北3条西2-1 Central Cliff5階)

○5月11日(日) 13:00～15:00 eスポーツ専攻 ストリートファイター6体験

○5月18日(日) 10:00～12:00 マンガ・イラスト専攻 描き分け体験

○5月18日(日) 11:00～13:00 動画クリエイター専攻 プログラミング体験

○5月18日(日) 13:00～15:00 ゲーム・アニメ専攻 アテレコ体験

※HPより各自申し込み

※個別相談会・学校見学会も随時受付中



福沢諭吉の進路選択



多くの偉人は人生のある瞬間に重大な進路選択を迫られました。その決断は時として偶然のように見えますが、その背後には深い思索や運命的な出会いが隠れています。

例えば、日本の明治時代を代表する福沢諭吉の進路選択は興味深いものです。彼は幼少期から学問に励んでいましたが、初めは武士としての道を歩むことを期待されていました。しかし、彼の人生を決定づけたのは、蘭学(オランダ語を用いた西洋学問)との出会いでした。福沢は兄の勧めで長崎へ向かい、西洋の知識に触れます。これが彼の人生の転機となり、のちに江戸へ出て本格的に蘭学を学び、さらに英語へと進んでいきます。

彼の進路選択の決定的な瞬間は、幕府の遣欧使節団に随行した経験でした。ヨーロッパの進んだ文明を目の当たりにし、日本が変わるべきだと強く感じた彼は、帰国後に「学問のすすめ」などを執筆し、日本の近代化を推進しました。もし彼が武士としての生涯を選んでいたら、日本の歴史は異なるものになっていたかもしれません。

「バタフライ・エフェクト」～蝶の羽ばたきが地球の気候変動に影響を与える～の例えのように、偉人の進路選択は偶然の要素もありますが、彼らの探求心や勇氣ある決断がその後の歴史を大きく動かしていったのかも知れません。あなた自身の人生の選択にも、こうした偉人の決断がヒントになるかもしれませんね。